

かしこいエコリノベ

2018.10.3 wed

14:00 ~ 17:15

会場 / AGC スタジオ 2 階

東京都中央区京橋 2-5-18 京橋創生館 2 階

参加費 / 無料 定員 / 70 名

主旨解説：嶋田洋平 (㈱らいおん建築事務所代表取締役)

講演：伊藤明子 (国土交通省住宅局長) 「これからの日本の住宅市場」

松村秀一 (東京大学 教授) 「日本の住宅と部品の潜在能力を解き放つ」

松尾和也 (松尾設計室) 「省エネルギー住宅が日本を変える」

竹内昌義 (東北芸術工科大学 教授) 「高気密・高断熱の住まいのデザイン」

※講演者および講演テーマは変更になる場合がございます。

日本国内で最盛期90万人いたと言われている建設職人数は現在39万人、10代に至っては千人単位でしか職人が存在しないという。そして今後突き進む人口減少と超高齢化の中その数が増加することは考えにくい。つまり建築を作る職人組織の再組織化は二度と起こらないと考えるのが自然である。将来、建築はどのように作られるのだろうか。一方、国内の新築着工件数は減少の一途であり、既存住宅の活用が求められている。6000万戸以上の既存住宅のうち、そのうち実に820万戸以上が空き家になっていて、既存住宅の約39%は、無断熱かそれに近い低い断熱性能しか持ち合わせていないという。

今、我が国においては、既存住宅の高気密高断熱化等の省エネルギー化を図ることは、快適で健康に優しい住まいをストック活用でも提供できるようになることにとどまらず、昨今問題となっている環境問題や、全国的に縮退する地域からのキャッシュアウトへの歯止めにもつながる。

ここで、一般ユーザーが省エネルギー化の住宅の高気密高断熱化改修(リノベーション)を自ら行う社会の到来を予測して見てはどうだろう。既存住宅の一般ユーザーによる断熱改修が、住宅産業や建材メーカーにもたらす新しいビジネスの可能性、国内の地方都市に与える効果、森林資源を活用したあたらしい産業のポテンシャルを考え、発信し、普及することで実践が生まれることを目的とし、本テーマを企画した。

嶋田洋平 (㈱らいおん建築事務所、住総研すまいろん編集委員)



企画：住総研 すまいろん編集委員会

主催：一般財団法人 住総研

お申込み：ホームページよりお申込みください。

<http://www.jusoken.or.jp/symposium/sumaisympo.html>

申込締切日：2018年9月28日(金)

(ただし定員になり次第締め切らせていただきます)

一般財団法人 住総研

<http://www.jusoken.or.jp/>

e-mail sumairon@jusoken.or.jp

〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目12番2号朝日ビルディング2階

TEL: 03-3275-3078

住総研では「すまいろん」発刊に伴いすまいろんシンポジウムを開催しています。